

国見町防災マップ を一部改訂しました



●阿武隈川浸水想定区域を見直し

想定を超える洪水被害が全国的に多発したことから、避難体制の充実・強化を図るため、国土交通省は国管理河川である阿武隈川の浸水想定区域を見直しました。

●土砂災害警戒区域の指定（普蔵川）

県管理河川である普蔵川が土石流危険渓流に指定されたため、防災マップを変更しました。

●避難準備情報等の名称変更

平成 28 年 8 月に発生した台風第 10 号による水害で岩手県を中心に甚大な被害が発生したことを受け、これまでの「避難準備情報」が「避難準備・高齢者等避難開始」に変更されました。高齢者や乳幼児など避難に時間を要する人などが適切に避難できるよう発令されます。

●Yahoo! 防災速報の配信開始を記載

スマートフォン向けアプリ「Yahoo! 防災速報」による情報発信を開始したため、新たに記載しました。

●アンダーパス

国で冠水危険箇所としている県道白石国見線 JR 藤田ガードの位置を追加表記しました。



今年度の防災訓練は 9 月 10 日（第 2 日曜日）に各地区での実施を予定しています。詳しくは各町内会長や各自主防災会長を中心に協議し、内容を検討していきます。

☎ 住民生活課住民防災係 ☎ 585-2116

平成 29 年度原発事故関連に係る 主な事業について



3 月 23 日、東日本大震災復興対策推進国見町民会議役員会が開催され、これまでの活動経過を報告するとともに、新年度の事業及び中間貯蔵施設への輸送に係る取り組みについて協議し、提案のとおり決定しました。

平成 29 年度の主な事業について

- 除染対策について
 - ・現場保管している公共施設（集会所）等 29 箇所や農地（樹園地）19 箇所からの除去土壌等の搬出。
 - ・ため池放射性物質対策の実施及び除去土壌等の搬出。
 - ・住宅除染後継続モニタリング 各町内会 1 軒の住宅を年 1 回測定。
 - ・道路等側溝において、除染により空間線量率が除染の対象となる基準値より低く、除染により土砂等の堆積物を撤去（除去）できなかった堆積物の撤去・処理。
- 県北浄化センター下水汚泥対策について
 - ・仮設汚泥乾燥施設の監視。
- 健康管理事業について
 - ・ガラスバッジによる外部被ばく検査、ホールボディカウンターによる内部被ばく検査、及び健康診断への検査項目の追加等。
- 農作物等の風評被害対策について
 - ・町長のトップセールスを主体とした、町産品の PR 活動、情報発信等を積極的に展開。
 - ・一層の信頼性の向上と安全・安心の確保のため、米の全量全袋検査・あんぼ柿全量非破壊検査の継続した取り組み。
 - ・食の安全・安心のため、放射能簡易分析測定の継続実施。非破壊式測定器の活用。
 - ・道の駅の開業にあたり、復興のシンボルにふさわしい、国見型の道の駅の運営。

県北浄化センター下水汚泥が全量搬出！

平成 27 年 4 月 21 日から県北浄化センター内の仮設汚泥乾燥施設の運転が開始され、24 時間体制で平成 29 年 3 月までに約 25,000 t の汚泥を減容化し、全量搬出する計画でございましたが、計画よりも 2 カ月早く 1 月末に全量搬出となりました。

また、汚泥保管テントにつきましても、最大 69 張あったものが、2 月末にすべて解体撤去されました。



2 月末の様子。汚泥保管テントがすべて解体撤去されました



くにみ幼稚園

よこはま たいが

わたなべ そうた

たけだ わたる

たかはし りつ、さとう ひろやす
なかじょう いち

いさなみオオたち